

# スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート  
2021年5月

特化型

追加型投信／国内／株式

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

## 設定来、毎年TOPIXを上回る運用成果を上げてきた厳選投資

当ファンドは設定以降、「卓越した経営陣」と「魅力的なビジネス」を併せ持つ確信度の高い銘柄に割安時に集中投資し、高度な分散ポートフォリオで長期保有することで、相場の上昇局面、下落局面にかかわらず毎年TOPIX（配当込み）を上回るパフォーマンスをあげてまいりました。

過去、当ファンドは短期的に成長性の乏しい低PBR銘柄が買われる時期にパフォーマンスが出にくい局面があり、現在も相場の方向感が定まりづらい中、低PBR銘柄が買われる傾向ですが、株価とは、長期的には企業の実態価値を反映するものだと考えており、今後も投資先企業の際立った力強さが中長期のパフォーマンスに帰結するものと確信しております。

暦年リターン  
(2008年～2020年)

	厳選投資	TOPIX (配当込み)	差異
2008年	-17.1%	-29.2%	12.2%
2009年	15.9%	7.6%	8.3%
2010年	6.8%	1.0%	5.8%
2011年	-15.7%	-17.0%	1.3%
2012年	26.0%	20.9%	5.1%
2013年	65.2%	54.4%	10.8%
2014年	26.1%	10.3%	15.9%
2015年	18.5%	12.1%	6.5%
2016年	7.4%	0.3%	7.1%
2017年	29.1%	22.2%	6.9%
2018年	-5.7%	-16.0%	10.3%
2019年	18.6%	18.1%	0.5%
2020年	21.4%	7.4%	14.1%
2021年(～4月)	0.1%	6.2%	-6.1%
設定来	408.1%	104.2%	303.9%

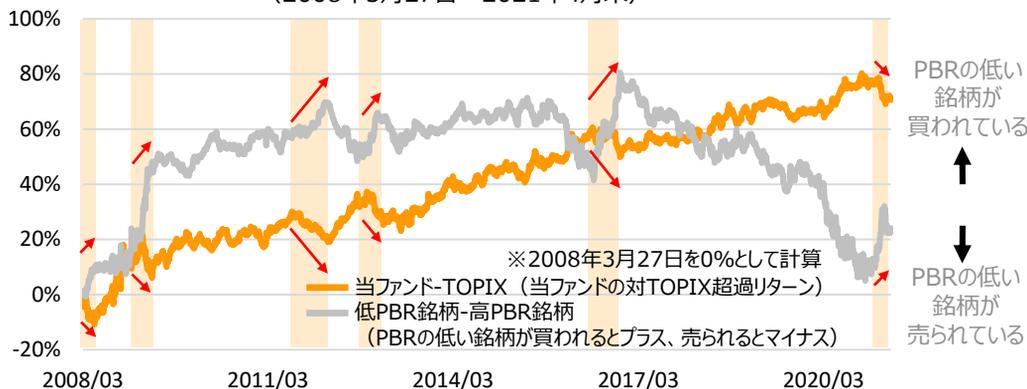
これまで

上昇相場ではTOPIXより上昇、  
下落相場ではTOPIXより下落を抑え、

対TOPIXで暦年リターンは  
13年全勝！

当ファンドの対TOPIX超過リターンと低PBR銘柄の推移比較

(2008年3月27日～2021年4月末)



過去パフォーマンスの  
出にくい局面があっても  
長期で実績を上げてきた  
運用力！

※ 低PBR銘柄-高PBR銘柄は、REITやETFなどを除く上場銘柄の時価総額200億円以上のうち、各上位20%程度から算出しています。

※ TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマークではありません。

出所： スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc.（2021年4月30日現在）

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。

# スパークス・新・国際優良日本株ファンド

## (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート  
2021年5月

特化型

追加型投信／国内／株式

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

### 当ファンドの運用状況

当ファンドは、今年2月半ばから米長期金利上昇に伴う成長株の調整局面以降、基準価額の芳しくない状況が続いていますが、この短期的な調整はある程度私どもが予想できていたことであるため、冷静に受け止めています。当ファンドのポートフォリオは、長期的に成長期待ができる確信度の高いグローバル企業に投資しており、金利上昇やインフレなどの逆風は組入企業の長期的な利益成長を通じていずれ克服できると考えています。

受益者の皆様におかれましては、短期的な下落にとらわれず、長期的な目線で当ファンドを継続保有いただけますと幸いです。

### 当ファンドの基準価額と参考指数の推移

(2008年3月27日～2021年4月末)



過去のパフォーマンス (2021年4月30日現在)

	厳選投資	参考指数	差異
1ヶ月間	-2.46%	-2.84%	0.38%
3ヶ月間	0.43%	5.91%	-5.48%
6ヶ月間	12.99%	21.48%	-8.49%
1年間	38.40%	32.34%	6.06%
3年間	35.48%	14.61%	20.87%
設定来	408.11%	104.18%	303.93%
年率リターン	12.95%	5.49%	7.46%
年率リスク	19.28%	21.55%	-2.27%

保有上位5銘柄 (2021年4月30日現在)

順位	コード	企業名	保有比率
1	9984	ソフトバンクグループ	10.1%
2	6594	日本電産	9.7%
3	6758	ソニーグループ	9.5%
4	6098	リクルートホールディングス	8.4%
5	6861	キーエンス	8.2%

- ※ 参考指数 (TOPIX (配当込み)) は当ファンドのベンチマークではありません。
- ※ 分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものであり、税引前の分配金を再投資したもとして計算したものです。
- ※ 基準価額は信託報酬控除後です (過去のパフォーマンスは月末値により算出しています)。
- ※ 年率リターンは計算期間 (2008年3月27日～2021年4月末) におけるリターンを年率換算しています。年率リスクも同計算期間における日次リターンの標準偏差 (年率換算) です。

出所: スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc. (2021年4月30日現在)

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社 (以下当社) が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を必ずご確認ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。

# スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

追加型投信／国内／株式

お客様向けレポート  
2021年5月

特化型

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

## 組入上位銘柄の2020年度決算発表後の株価下落要因について

組入銘柄 第2位

### 日本電産 (6594)

#### 株価下落要因に対するスパークスの考え

- ① 世界的な半導体不足による車載モーター事業の業績悪化懸念  
⇒いずれは解決する一過性の問題で、長期保有する投資家にとっては買い増しの好機と考えられる。
- ② EV向けの同社製モーターを搭載したEV売上が未だ小規模である  
⇒EV市場の急激な拡大は2024～25年頃の見通し。工場建設と受注獲得を急いでおり、EV本格普及期には同社だけが大量供給できるポジションにあるという先手必勝の戦略。
- ③ カリスマ創業者である永守氏による関社長へのトップ交代の発表  
⇒後継者問題に目途がついたという意味でポジティブ。今後10年程度かけてリーダーシップの移行を進めるため、創業者が植え付けた企業文化がしっかりと受け継がれていくと判断。

#### スパークスの着目点

- ✓ 世界最大の総合モーターメーカーとして、金融危機やチャイナショック、コロナショックなど幾度の危機を乗り越えた経営手腕。
- ✓ 同社製モーターの競争優位性は、小型・軽量、高性能、低価格にあり、同社はスケールメリットと技術ノウハウの共有メリットが生かせる。
- ✓ 大きな市場拡大が見込まれるEVの心臓部ともいえるトラクションモーター事業に注力、受注状況も良好。EV普及によって自動車製造業がコモディティ化されることで同社のような専門サプライヤーによる寡占化が進むと考えられる。

#### 株価推移

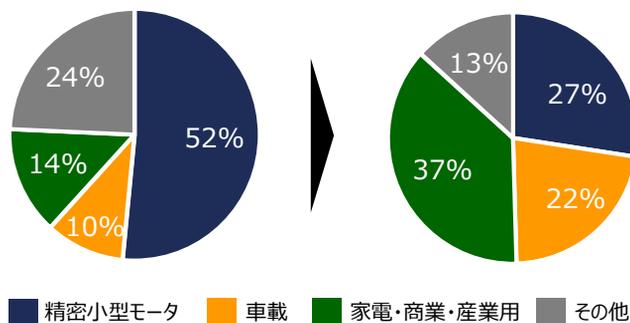
(2008年3月27日～2021年4月30日)



#### 事業ポートフォリオの比較

2010年度  
売上高：6,760億円

2020年度  
売上高：1兆6,181億円



⇒HDD向け精密小型モーター專業から世界最大の総合モーターメーカーとしても製品の多角化に成功!

※ 上記は当ファンドの運用への理解を深めていただくためのご参考資料であり、特定の有価証券等を推奨しているものではありません。

出所： 会社資料、スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc. (2021年4月30日現在)

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。

# スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

追加型投信／国内／株式

お客様向けレポート  
2021年5月

特化型

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

## 組入上位銘柄の2020年度決算発表後の株価下落要因について

組入銘柄 第3位

### ソニーグループ (6758)

#### 株価下落要因に対するスパークスの考え

長年の構造改革により、連結純利益が初の1兆円を超えるも、2021年度の利益について前年度比減少、中期キャッシュフローについて市場期待を下回る見通しを示したため株価は下落。

昨年度までの例を見ても、新年度業績予想は実際にはその通りにならないという事が往々にしてあり、今回の発表内容をそのまま受け入れる必要はないと考える。

私どもは、今期業績に関して確固たる予想値こそ持ち合わせていないが、同社ビジネスは中長期的な方向として成長することは確かとみる。

#### スパークスの着目点

- ✓ 同じ消費者が継続して買い続けてくれるリカーリングビジネスやグループ内の様々な要素を結び付けて新たな収益機会に繋げるという「One Sony」イニシアティブを推進することで、安定化したキャッシュフローを生み出している。
- ✓ ゲーム、音楽、映画といった様々なエンタテインメント関連事業が利益の半分近くを稼ぐ収益構造になっており、有望な成長分野。
- ✓ 世界シェア5割を誇るCMOSイメージセンサーを手掛ける半導体事業は、昨年米国政府による制裁の一環としてHuawei製スマートフォンへの供給が強制的にストップするも現在は再開。今後は自動運転に必要な車載向けやセキュリティ向け、ファクトリーオートメーション向けなど用途拡大も進む。

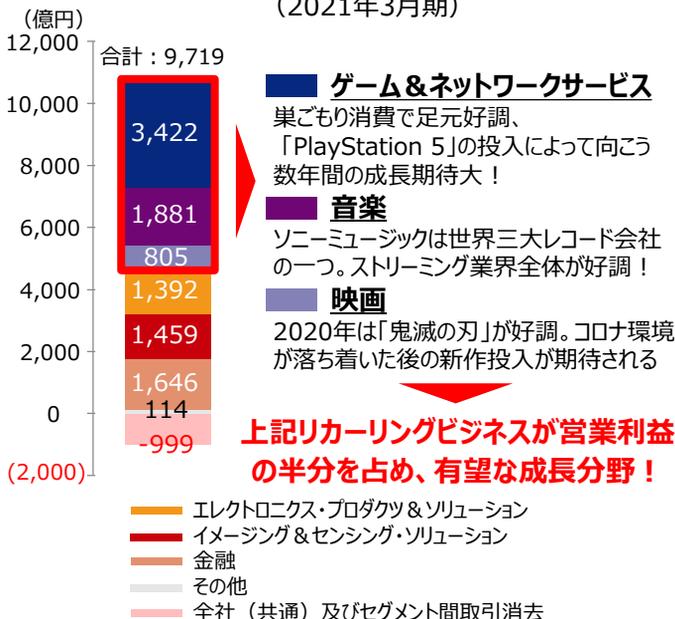
#### 株価推移

(2008年3月27日～2021年4月30日)



#### セグメント別営業利益

(2021年3月期)



※ 上記は当ファンドの運用への理解を深めていただくためのご参考資料であり、特定の有価証券等を推奨しているものではありません。

出所： 会社資料、スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc. (2021年4月30日現在)

当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。

# スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート  
2021年5月

特化型

追加型投信／国内／株式

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

当資料はお客様向け資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

## ■投資リスク

当ファンドは、主として国内の株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。**従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。**

ファンドが有する主な変動要因は、次の通りです。※変動要因は下記に限定されるものではありません。

●株価変動リスク ●集中投資のリスク ●信用リスク ●その他（システムリスク・市場リスクなどに関する事項、法令・税制・会計方針などの変更に関する事項等）

ファンドのリスクなどについては、「投資信託説明書（交付目論見書）」に詳しく記載されております。お申込みにあたっては、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

## ■ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入申込受付日の基準価額に3.30%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。※詳しくは販売会社までお問い合わせください。
換金時	信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に対して0.3%の率を乗じて得た額をご負担いただきます。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用（信託報酬）	日々の信託財産の純資産総額に対して年率1.804%（税抜1.64%）を乗じて得た額とします。〔委託会社0.99%（税抜0.90%）、販売会社0.77%（税抜0.70%）、受託会社0.044%（税抜0.04%）〕 運用管理費用（信託報酬）は、ファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。
	監査費用 印刷費用	監査費用、印刷費用などの諸費用は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11%（税抜0.10%）を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。
随時	その他費用・手数料	組入る有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、その都度信託財産から支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※当該手数料等の合計額については、ファンドの購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

## ■お申込みメモ

購入単位	販売会社が別に定める単位 ※詳しくは販売会社までお問い合わせ下さい。
購入価額	購入申込受付日の基準価額
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した額
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には制限を設ける場合があります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。原則として配当控除の適用が可能です。 * 上記は2020年10月末日現在のものですので、税法が改正された場合等には、内容が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## ■特化型に関して

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては、35%を上限として運用を行います。

# スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

お客様向けレポート  
2021年5月

特化型

追加型投信／国内／株式

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

## ■ファンドの関係法人について

- 委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号  
（加入協会）一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。
- 受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社  
委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本マスタートラスト信託銀行株式会社に委託を行います。
- 販売会社 下記一覧参照  
ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

販売会社	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第52号	○	○	○	
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第6号	○			
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第5号	○	○		
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第3号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第40号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○		○
株式会社東京スター銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第579号	○	○		
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第32号	○			
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第75号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○		○	
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第7号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第6号	○	○		○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第181号	○		○	
LINE証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3144号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第346号	○		○	○

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社  
ホームページ <https://www.sparx.co.jp/> 電話番号：03-6711-9200（受付時間：営業日9：00～17：00）